

戸 田 市 教 育 委 員 会 会 議 録			
招 集 期 日	平 成 2 9 年 8 月 2 4 日 (木)		
場 所	戸 田 市 役 所 教 育 委 員 室		
開 会	8 月 2 4 日 午 前 9 時 3 0 分		
閉 会	8 月 2 4 日 午 前 1 1 時 2 0 分		
教 育 長	戸ヶ崎 勤		
教 育 長 ・ 委 員 出 席 状 況	戸ヶ崎 勤	出 席	
	仙 波 憲 一	出 席	
	吉 田 辰 行	出 席	
	鈴 木 晃	出 席	
	土 肥 美 奈 子	出 席	
説 明 員	鈴木教育部長、熊谷次長、栗津副参事、渡部教育政策室長、		
	武藤学務課長、教育政策室 川和田担当課長、細井学校給食課長、		
	津田生涯学習課長、小須田図書館・郷土博物館長		
書 記	教育総務課総務担当 山本副主幹、片桐主任		
傍 聴 人	3 人		

会 議 の 経 過 及 び 結 果

教 育 長

とだっ子たちの夏休みは今日で終わり、一足早く明日からまた授業が再開されます。子供たちの心境は如何ばかりかと察します。

ところで、先日、ある店のフードコートで「商談や勉強での長時間の御利用は御遠慮ください。」との掲示を目にしました。かつて、「勉強お断り」は喫茶店にもありました。店側の気持ちもわかりますが、長時間黙々と一人で勉強している学生を見ると、複雑な気持ちになります。

周囲の会話や談笑に注意を払っていなくても、自分の名前がささやかれると聞こえることを「カクテルパーティー効果」と呼び、選択的注意(selective attention)の代表例とされています。

大事な声(音)がした時だけスイッチが入り、別のことに没頭している時は周囲の音を無自覚に遮断して、騒がしくても集中できるのです。「選択的注意」とも呼ばれるのは、聴覚だけでなく視覚などにも影響する私たちの意識と脳のメカニズムを指しています。例えば「20代女性限定」とか「体脂肪が気になる人」などと書くのは、年代や趣味嗜好などを限定して、カクテルパーティー効果を利用し、ターゲットに目を向けてもらうマーケティング手法の一つとされています。

私たちの脳は、情報処理の効率化のために、選択的に注意を向けた情報を優先的に処理します。そして、それ以外の情報はシャットアウトしてしまいます。実は、一般的にADHDなど発達障害の人は、この選択的注意が不得意とされています。一方、この力を育成すると集中力が高まり、学力向上に効果があると取り組み始めた学校や自治体もあると聞いています。

教 育 長

ただ今から、平成29年第8回戸田市教育委員会定例会を開会いたします。

初めに、前回の会議録の承認ですが、事前に会議録の内容を見ていただいておりますので、御異議がないようでしたら承認ということによろ

	しいでしょうか。
各委員	了承
教育長	それでは、会議録に御署名をお願いします。
各委員	署名
教育長	次に、秘密会となる案件につきましてお諮りいたします。次の案件については、公開することにより事務の公正な執行に支障が生じる案件、人事案件及び議会提出案件となりますので、秘密会で行うこととしてよろしいかお諮りいたします。 報告事項⑤ 全国学力・学習状況調査結果について 議案第28号 戸田市立図書館・郷土博物館協議会委員の委嘱について(案) 議案第29号 平成29年度一般会計教育委員会関係9月補正予算(案)について
各委員	異議なし
教育長	それでは「報告事項⑤、議案第28号及び議案第29号」は、秘密会とすることに決定いたしました。
教育長	はじめに、「教育委員提案について」御報告いたします。以前の教育委員会にて委員より御質問のあった件について報告がございます。 ① 教職員の多忙化対策の進捗状況について（吉田委員提案） ② 就学援助制度について（土肥委員提案） それでは吉田委員から御提案のありました「教育委員提案① 教職員の多忙化対策の進捗状況について」事務局より説明願います。
事務局	①教職員の多忙化対策の進捗状況について報告します。 過日文科科学省の調査で、公立小中学校教諭の平日の勤務時間が10年前に比べて30～40分長い11時間以上になっており、厚生労働省のいわゆる「過労死ライン」に該当する割合も多いということがわかり、一般社会からも教職員の働き方について注目されるようになっていま

す。このような時代の流れから、これまでに、各学校では、行事の精選、週日課の工夫、定時退勤日や部活動休養日の設定などに取り組んでおり、子供と向き合える時間を確保し、同時に、教職員の働き方についても意識するようになってきていると感じています。

また、戸田市教育委員会におきましても、6月の総合教育会議にて報告いたしました。昨年度、文部科学省の委託事業である「チーム学校の実現に向けた業務改善等の推進事業」に取り組み、業務の改善について一定の成果をあげてきております。また、今年度よりスタートしている「夏季休業中の学校閉庁（サマーリフレッシュウィーク）」は、戸田市教育委員会が県の取組に合わせ、教職員の休暇促進と負担軽減の推進を真剣に考え、いち早く進めたものです。

昨年度立ち上げた「戸田市小・中学校負担軽減検討委員会」において、具体的な対応を考えるには戸田市の教職員の実態を把握することが必要であることから、全教職員を対象に「教職員の勤務実態調査」を実施いたしました。本日はその結果から多忙化対策の進捗状況を御報告いたします。

資料1ページを御覧ください。調査集計結果につきまして、「1調査の概要」を御覧ください。調査目的や調査対象、回答者数、男女別回答数、年齢構成等となっております。

2ページを御覧ください。設問5-1平日の勤務時間終了後の在校時間ですが、「2～3時間」と回答している者が最も多く、おおむね、1～4時間程度の勤務時間終了後の在校となっていることが分かります。少なく見積もって、1日2時間×20日間としても、毎月40時間以上の勤務時間終了後の在校時間となっていることが分かります。下段は、その時間にどのような業務を行ったかについての回答です。小・中ともに教材研究等の授業準備が最も多く、ノートの評価や採点等が多い傾向にあります。小学校では、学級事務や校務分掌の業務も多いようです。また中学校では、突出して部活動に係る時間が多いことが特徴といえます。

3 ページを御覧ください。設問 5 - 2 家に持ち帰って仕事をした時間とその内容についてです。小・中ともに、半数近くの者が家には仕事を持ち帰っていないようですが、その反面、学校で済ませるため、勤務終了後の在校時間が長くなることも考えられます。また、個人情報等の関係で家に持ち帰れないという状況も考えられます。家に持ち帰る仕事については、教材研究等の授業準備が多いという結果となっております。

4 ページの 5 - 3 は同じ質問で土日に家に持ち帰った仕事についての時間とその内容です。平日と比べ、大きな違いはありません。

5 ページを御覧ください。「日頃、多忙であると感じるときはどの程度ありますか」という設問 6 の回答者の割合です。「いつも感じる」は小学校では約 40%、中学校では約 50%となっており、「しばしば感じる」を含めると、小・中学校とも 80%弱となっており、多くの教員が「多忙である」と感じながら日々の業務を行っていることが分かります。また、下段、設問 7 では「多忙感をどのように受け止めているか」について、「仕方がない」と回答している割合が最も多くなっております。また、「仕事に追い立てられ、時間的なゆとりや心の余裕がない」と回答している割合が小学校、中学校合わせると半数以上の教員が多忙感を感じつつも、その現状に「仕方がない」とあきらめながら日々の業務を行っていることがわかります。このことから、身体的な健康状況にも影響を与えることも考えられますし、精神的にも追いたてられ、心にも影響を与えることが考えられます。しかし、その一方で、「多忙は感じるが、やりがいを持って仕事に臨んでいる」と回答している教員も小学校で 32%、中学校で 27%おります。

6 ページを御覧ください。設問 8 「どのような業務が負担であるか」について、小学校では「保護者対応」、中学校では「部活動」が最も多くなっております。その他、会議や学級事務、校務分掌の業務等も回答が多いといえます。授業準備や教材研究、採点等にも多くの回答となっておりますが、これは教員本来の業務であり、ある意味仕方がないと考えます。下段の設問 9 「業務の効率化のための学校で取り組むべき事項」

	<p>として、小学校では「会議の内容や進行の見直し」、「行事の実施方法の見直し」、「職員間の業務量の均等化、適正化」が多く、中学校では「職員間の業務量の均等化、適正化」、「部活動の在り方の検討」、「外部から依頼される会合、調査、コンクール等への参加」という傾向となっております。</p> <p>7ページを御覧ください。設問10は同じ内容の質問で「教育委員会等の行政機関が取り組むべき事項」です。「調査、報告の厳選」、「文書処理の簡略化」、「研修会等の厳選」等の回答が多くなっております。</p> <p>8ページを御覧ください。設問11は多忙化解消のための具体的な学校での対応策、9ページは多忙化解消のための教育委員会等行政機関が行う具体的な対応策についてのグラフとなっております。おおむね、設問9、10と同じような回答となっておりますが、その他の意見も掲載しております。学校で取り組むべき事項としては、「一人一主任制度」や「学校全体での行事の効果検証」、「見える化」などがあげられています。また、教育委員会で取り組むべき事項として「文書の精選」や「児童・生徒数の一括管理化」、「部活動の完全休業日の設定」などがあげられております。</p> <p>以上、教職員の勤務実態調査の集計結果です。今後、負担軽減検討委員会におきまして、この調査結果をもとに、「行政ができること」、「学校ができること」、「教職員一人一人ができること」についてさらに検討していく予定です。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>何か御質問等がありましたら伺います。</p>
<p>委 員</p>	<p>このアンケートで実態を把握することができ、問題点がはっきりしたのではないのでしょうか。今後、この結果をもとに、対応策を検討してください。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>業務改善推進事業については、昨年度文科省の委託を受けて全国に先駆け、事例発表を行ったところです。本市では既に使用している校務支援システム（通知表や指導要録の電子化）を他市ではこれから始めよう</p>

	<p>とされているとのことですので。</p>
事務局	<p>教職員は戸田市の取組を理解していますが、負担軽減は誰かがやってくれるものだという意識があるようです。働き方改革について、自発的に考えるよう、シフトチェンジしなければならないと考えています。</p> <p>在校時間調査を実施し、その結果、昨年度よりは改善しています。昨年度、負担軽減委員会を立ち上げ、学校で軽減策について考える取組が始まったので、それを各学校へ広げていきたいと考えています。</p>
委員	<p>アンケートを見ると、残業がない人、わずかの人もいるようです。職種ごとの残業時間や残業がない人がどのような取組をしているのか分析をお願いします。</p>
委員	<p>一般教職員と管理職など、職種によって残業時間は違うと思います。先日話題になった、静岡県吉田町の夏休み短縮のように、抜本的な構造改革が必要かもしれません。</p>
委員	<p>先生方の日常の活動実態は昔と同じなのでしょうか。なぜ今が多忙化と言われるのでしょうか。</p>
事務局	<p>内容的には昔も今も基本的には変わりません。しかし、今は若い教員が圧倒的に多い状況です。私が若手教員だった20年ほど前は、20代の教員が各学校に1人か2人しかいませんでした。今はベテランの教員が少なく、そのことも原因のひとつかもしれません。</p>
教育長	<p>教員の負担軽減については、平成20年、そして平成10年の中教審答申でも触れられています。最近では教員の負担軽減について、マスコミ等で脚光を浴びていますが、とても忙しい人とそうでない人がいるようです。主幹教諭や教頭が一番忙しいと思いますが、随時学務課から報告してください。</p>
委員	<p>このアンケート結果のフィードバックはどうなっていますか。</p>
事務局	<p>負担軽減委員会から校長会へ報告し、各学校へ伝わります。実態を知</p>

	り、お互いに工夫をする必要があると思います。
委 員	私が教員の頃は学校行事等に余裕があったように記憶していますが、学校行事の見直し等、抜本的な構造改革が必要なのかもしれません。
教 育 長	コミュニティ・スクールの導入に向けて、現在研修会や準備を進めております。負担軽減についても地域とともに本音で話し合いを深め、変わるチャンスだと思います。
委 員	皆で議論し、納得して必ず成果を出すという気持ちで進めていきましょう。
事 務 局	学校でできること、教育委員会でできること、教員個人でできること等を整理して進めていく必要があります。教育委員会でできることのひとつとして、夕方以降の留守番電話の導入を検討しています。このような見直しが行われているということを知り、広めていけばよいのだと思います。コミュニティ・スクールの導入に向け、保護者や地域の方に知ってもらい、それぞれができることをやっていきたいと思えます。
教 育 長	他に御質問等がないようですので、続きまして土肥委員から御提案のありました「教育委員提案② 就学援助制度について」事務局より説明願います。
事 務 局	<p>②就学援助制度について報告します。</p> <p>就学援助制度は、経済的理由によって就学が困難な学齢児童・生徒の保護者に対し援助をするものです。対象となる保護者は、生活保護を必要とする「要保護者」、生活保護を受けるまでではないが生活が困窮していると認められる「準要保護者」です。学務課が所掌している事務は「準要保護者」を対象にしております。</p> <p>それでは、資料12ページを御覧ください。</p> <p>はじめに、「1 就学援助（準要保護）認定者数・認定率」ですが、平成</p>

	<p>29年8月1日現在の認定数は、小学校993人（認定率12.4%）、中学校594人（認定率18.0%）、合計1,587人（認定率14.0%）です。申請については、随時受け付けておりますので、今後、認定数や認定率は変わりますが、おそらく前年度と同水準になる見込みです。</p> <p>資料14ページを御覧ください。この表は、平成12年度からの就学援助認定者数と認定率の推移を一覧にしたものです。それぞれの年度ごとに上から総数（当時の児童生徒数）、認定数、認定率となっており、参考に合計の欄に全国の認定率を記載しております。この表からは、いくつか読み取れる内容がございますが、主に3点御説明いたします。</p> <p>①どの年も小学校の認定率より中学校の認定率が高いこと②平成22年度までは戸田市の認定率は国の認定率を下回っていたが、平成23年度からは逆転するようになっていること③平成12年度の認定数と現在の認定数を比較すると約3倍になっていることなどが読み取れます。</p> <p>現在の認定数は、およそ1,600人で、過去5年間ほぼ同じ水準で推移しております。</p>
教育長	何か御質問等がありましたら伺います。
委員	就学援助制度について、どのように周知していますか。
事務局	就学時健康診断の際に、就学援助制度のお知らせを全家庭に配布しております。また、それとは別に、年1回お知らせを配布しております。
委員	各家庭の考え方もあるでしょうが、申請を遠慮してしまうことはありませんか。
教育長	学校では、各家庭の所得はわかりませんが、努力して周知をしています。平成12年と比較して認定率が3倍となっているのは、制度が浸透しているのではないかと思います。
委員	私が教員をしていた頃、子供の持ち物や服装などから判断して制度の周知をしていました。それは今も同じだと思います。引け目を感じるのではなく、学習支援と捉えて、積極的に申請してほしいと思います。

<p>教 育 長</p>	<p>他に御質問等がないようですので、続きまして、「報告事項」について申し上げます。本日は「その他」を含めまして、6件の報告がございます。</p> <p>① 県学力・学習状況調査結果について</p> <p>② 「授業がわかる調査」調査結果の概要について</p> <p>③ 戸田市サイエンスフェスティバル実施報告について</p> <p>④ 経済教育入門講座について</p> <p>⑤ 全国学力・学習状況調査結果について</p> <p>⑥ その他</p> <p>秘密会となる報告事項⑤以外の詳細につきまして、各所属長より報告いたします。なお、御質問につきましては、すべての報告が終了したのちに伺います。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>①県学力・学習状況調査結果について報告します。</p> <p>今年度の結果を説明する前に、県の学力・学習状況調査について、改めて簡単に調査の特色を御説明いたします。</p> <p>資料3ページを御覧ください。県学力学習状況調査は、小学校4年生から中学校3年生のすべての児童生徒が国語、算数・数学を、英語については、中2、中3の生徒が実施します。その結果は、右の表にあるように小4であれば、レベル1からレベル7の21段階の中で表されることとなります。小5から中3は御覧の白抜きの枠の範囲で表されます。1つのレベルは3層に分かれていますので36段階で結果が表されます。左側の表のように12レベル36段階を最低の1-Cから最高の12-Aで結果が表されます。</p> <p>また、御案内のとおり、この学力調査は、IRT（項目反応理論）による設計がされており、学年が上がり問題が変わっても、各調査の問題の難易度が考慮されるため、調査結果を比較することが可能となっております。</p>

	<p>ります。そして、この学力調査のポイントである昨年度と今年度の「学力の伸び」を測ることが統計的にできるものとなっています。ちなみに今回の調査で3年目となっており、一昨年度から「学力の伸び」を見ることができるようになっております。</p> <p>このことを踏まえ、2ページを御覧ください。御覧のグラフは、戸田市の平成27年度から平成29年度の学力レベルの推移を表しています。黒い矢印は27年度から28年度の伸びを、赤い矢印は28年度から29年度の伸びを表しています。</p> <p>28年度から29年度の伸びについては、概ね1マス（1層）から2マス（2層）の伸びが見られます。今年度については、3教科ともに中2から中3の伸びが大きいことがわかります。</p> <p>次に1ページを御覧ください。戸田市と埼玉県の結果の比較です。伸びにつきましては、ほぼ同程度となっておりますが、平均正答率については、すべての学年、教科で大きく県のレベルを超えている状況です。</p> <p>最後に4ページを御覧ください。現在、各学校において本調査の分析を行っております。今年度の分析については、各学校によく伸びている又は伸びに課題のある学年、教科に焦点化し、その理由を詳細に分析してもらうよう、学校に教科を指定して報告書の作成を依頼しています。</p> <p>この分析結果については、改めて御報告いたしますが、教育委員会も独自の量と質の両面からの分析を進めており、伸ばしている教員については、指導主事や民間教育事業者が授業観察などを行い、伸ばしている要因について分析を進めていこうと考えております。このことは、教員評価に利用することが目的ではなく、より効率的に指導力を高めるために利用していくものであることを申し添えます。</p>
<p>事務局</p>	<p>②「授業がわかる調査」調査結果の概要について報告します。</p> <p>本調査は、10年以上続く調査ですが、まず調査内容について御説明いたします。</p>

10ページ、11ページを御覧ください。小・中学校別の調査結果です。小学校4年生から中学校3年生の全児童生徒を対象に、左側の教科に関する、3つの項目（内容がわかるか、楽しいか、進んで取り組んでいるか）についての5件法のアンケートとなっております。例えば、表の見方として、小学校の一番上の4年生国語を御覧いただくと、「よくわかる53%」「だいたいわかる38%」「どちらともいえない7%」「少しわからない3%」「ほとんどわからない0%」ということになります。

90%を超えるものもありますが、11ページの中学校では、授業が楽しいという項目については、50%台の教科もありますので、今後状況をしっかりと確認してまいります。

全体的な状況については、5ページを御覧ください。目標値については、内容がわかる、意欲があるについて、小学校90%、中学校80%と設定しております。

全体的な状況についてですが、1つ目の「内容がわかる」については、小・中学校ともに昨年度と同数値であり、目標値まで少し届かない状況です。

2つ目の「授業への興味関心」については、小・中学校ともに数値があがっております。特に、中学校の5教科については、たいへん伸びている状況です。

3つ目の「意欲」については、小・中学校ともに少しずつ伸びている状況です。意欲についても特に中学校で大きく伸びている状況です。

7ページ～9ページは、これまでの経年変化です。

全体的に、高止まり傾向が見られますので、今後、現在取組を加速化している新しい学びの取組や、教科横断型の取組など、打開策を検討してまいりたいと考えております。

事務局

③戸田市サイエンスフェスティバル実施報告について報告します。

	<p>7月25日（火）の午後、芦原小学校を会場に戸田市サイエンスフェスティバルを開催いたしました。</p> <p>参加人数は、児童生徒数516人、保護者等414人、前年度に比べ、73人増の合計930人でした。講座は15講座を開催し、14団体にお世話になりました。また、教員ボランティアや理科支援員など、52人の教員が参加いたしました。</p> <p>具体的な講座内容は、13ページ以降の一覧を御覧いただければと思いますが、今年度は2つの新規の団体に、どちらもプログラミングの講座を行っていただきました。</p> <p>現在、産官学民との連携を進めておりますので、さらに充実した内容となるよう検討していきたいと考えております。また、来年度は10回目となりますので、会の運営について10回目の節目らしいものと思いたいと考えております。</p>
事務局	<p>④経済教育入門講座について報告します。</p> <p>9月16日（土）～来年の3月3日（土）にかけ、全6回の経済教育入門講座を実施します。</p> <p>経済教育は、難解な経済学や経営学とは異なり、「社会の仕組み」や「経済の働き」について、身近な題材を通して体験的に学び、よりよい生き方について考えるものです。本講座では、より良い選択のために、日常の出来事と照らし合わせながら、毎回のワークショップを通して「選択の6つの原則」について学びます。</p> <p>昨日現在で、定員を大幅に超える52人の申し込みがありました。</p>
教育長	次に⑥その他ですが、事務局より何かありますか。
事務局	<p>学校給食課から資料等はございませんが、報告いたします。</p> <p>昨日23日（水）、給食センターの4台ある食器洗浄機の1台である、トレイを洗う専用の洗浄機のコンベア付近から煙があがり、防止膜（カ</p>

	<p>ーテン) に引火するという事故がございました。火は調理士により消化され、けが人等はありません。引火の原因は現在調査中です。</p> <p>トレイの洗浄は洗浄機が使用できないため、他の3台の洗浄機と手洗いにより当面对応する予定です。来週からの給食の提供には影響ありません。また、万全を期し、調理場内、洗浄室の消毒をもう一度行い、食器も煙がかかっている可能性があることから、25日(金)に全ての食器を洗浄し、来週の給食開始に向け準備を進めております。</p>
教育長	<p>以上で、「報告事項」が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。</p>
教育長	<p>報告事項①について、県学力・学習状況調査は、IRTによる設計がされており、全国的に注目されつつあります。</p> <p>県平均との差に目が行きがちですが、それぞれの児童生徒の学力の伸びに注目し、日々の授業に生かしてまいります。</p>
委員	<p>学力レベルが上がっていればよいのですか。</p>
事務局	<p>この表とは別に、自分の点数と平均点とを比較できるグラフがありますので、両方を見ることで、相対的な成績と学力の伸びを判断していただければと思います。</p> <p>これまでは、平均点との比較のみで評価される傾向にありましたが、指導の改善点や成果が可視化されているので、教員の側からも活用しやすい調査結果となっています。</p>
教育長	<p>報告事項③のサイエンスフェスティバルについては、民間の力をお借りする良いきっかけとなっています。今後もさらに充実した内容となるよう検討いたします。</p>
委員	<p>報告事項④の経済教育講座について、学校教育と生涯学習の両面から実施することはとても意義深いと思います。良い成果が出ることを期待しています。</p>

<p>教 育 長</p>	<p>それでは、特に質問がないようですので、次に、「報告第6号 戸田市立図書館・郷土博物館の臨時休館について」事務局より報告願います。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>8月15日（火）午後5時20分頃、図書館・郷土博物館の建物が全館停電となりました。停電の原因は電気を建物へ引き込む高圧ケーブルの劣化によるものと判明しましたが、復旧までには、ある程度の期間を要することから、8月16日（水）～8月31日（木）までを臨時休館とする必要が生じ、この決定に緊急を要することから教育長による専決処理を行いましたので、報告いたします。</p> <p>復旧工事は、8月28日（月）・29日（火）に行い、順調に進めば、9月1日（金）から開館できる予定となっております。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>以上で説明が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。</p>
<p>委 員</p>	<p>夏休み期間中ですが、休館期間中は何もできないのですか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>本の返却、予約本の貸し出しは行うことができます。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>それでは、他に質問がないようですので、次に「議案第27号 平成30年度使用道徳小学校用教科用図書採択について」を事務局より説明願います。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>これまで委員の皆様には、来年度から新たに創設される「特別の教科道徳」の教科書の調査・研究を行っていただいていたまいりましたが、御案内のとおり、8月10日に教育センターにて、蕨市と戸田市による第二回埼玉県第四採択地区教科用図書採択協議会が開催されました。</p> <p>当日は早朝より、戸ヶ崎教育長、仙波委員に採択協議会の委員として御参加いただき、蕨の松本教育長、加藤委員と慎重な審議を行っていただきました。誠にありがとうございました。</p> <p>それでは1ページを御覧ください。御審議いただいた結果、「考え議論する道徳」という視点から、教材の冒頭、展開時、終末とそれぞれに発問や補助発問があり、段階的に考えを深めることができるように工夫さ</p>

	<p>れていること、また、巻末の「学びの足あと」では、考えの変容や学びを記述することができ、学習状況を確認する手立てになっていること等の理由により、光文書院が発行する教科書が第四採択地区採択協議会において選定されましたことを御報告させていただきます。</p> <p>御審議の程、よろしくお願いいたします。</p>
教 育 長	<p>以上で説明が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。</p>
委 員	<p>簡単で結構ですが、採択協議会では、他にどのような意見が出されましたか。</p>
事 務 局	<p>委員の皆様から、各教科書の工夫されている点が数多く挙げられ、予定時間を大幅に超えて活発な協議が行われました。</p> <p>最終的に、光文書院と東京書籍の2社に絞って協議され、問いの設定やまとめの工夫の他にも「考え、議論する道徳」の転換やいじめ問題の取り上げ方、他教科との関連を図る工夫など、多岐にわたり意見が交わされました。</p>
委 員	<p>アクティブ・ラーニングという視点から書かれており、また、考えるヒントが与えられ、子供たちの考えをスムーズに段階的に深めることができる発問や補助発問の工夫に関する評価が高く、光文書院にまともりました。</p>
委 員	<p>学校や保護者の意見は反映されたのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>もちろん学校や保護者の方の御意見については、反映させていただいております。学校の意見につきましては、市内全小学校の教員が教育センターで開催した教科書展示会に多数参加し、教科書研究を行いました。その研究報告書を学校ごとにまとめ、採択協議会の4名の委員さんに目を通していただいております。また、保護者の意見については、戸田、蕨、両市のPTA連合会から代表者を選出いただき、その代表者に教科書研究を行っていただきました。その報告書を採択協議会で事務局が委員の皆様にご報告いたしました。</p>

委 員	<p>今後、来年度の教科化に向けて、各学校で準備を進めていくと思いますが、教育委員会としても、「考え、議論する道徳」の実現に向けて、様々な機会に学校を支援していただければと思います。</p> <p>来年度、是非この教科書を使った授業を見てみたいと思います。</p>
事 務 局	<p>是非、新しい教科書を使用した「考え、議論する道徳」の授業を御覧いただきたいと思っております。今後の学校訪問などの様々な機会を捉え、学校への支援を行ってまいります。</p> <p>また、来年度についても今年度同様、道徳はもちろん、できる限り学校現場の実際の様子を御覧いただき、忌憚のない御意見をいただければ幸いです。</p>
教 育 長	<p>それでは、戸田市教育委員会として、第四採択地区からの選定結果のとおり、光文書院の教科書を採択することとしてよろしいでしょうか。</p>
委 員	<p>異議なし</p>
教 育 長	<p>異議なしと認め、議案第27号は提案内容のとおり採択いたします。</p>
教 育 長	<p>次に、次第の6その他の「次回の教育委員会の日程（案）」について、事務局より説明願います。</p>
事 務 局	<p>次回、教育委員会定例会の日程ですが9月21日（木）午前9時30分からの開催について、お伺いいたします。</p>
教 育 長	<p>それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおりでよろしいでしょうか。</p>
各 委 員	<p>了承</p>
教 育 長	<p>それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおり決定いたします。次に、その他ですが、事務局から何かございますか。</p>
事 務 局	<p>特になし</p>

教 育 長	来月の教育委員提案のテーマについて委員から何かございますか。
委 員	<p>私も何回か参加させていただきましたが、この夏、産官学民と連携した教職員研修が実施されましたので、その報告と今後のビジョンについて報告をお願いします。</p> <p>教育長の Facebook 記事に、日々の授業に直接生かす「How to 研修」と今後の教育の方向性を学ぶ「What to 研修」のバランスが大切であるとありました。大変興味深く、私もそのとおりだと思います。</p>
委 員	私は経済教育とプレゼンテーションの研修会に参加させていただきました。先生方は普段教える立場から教わる立場になり、楽しそうに主体的に学んでいました。先生方の、講師に積極的に質問する姿や研修後の自信に満ちた顔がとても印象的でした。その様子を拝見して、必ず授業に反映されると確信しました。
事 務 局	ありがとうございます。承知いたしました。
教 育 長	学校訪問もそうですが、教員研修にも委員の皆様にお越しいただきありがとうございます。教員研修に誰かしら必ず教育委員が出席するというのは他市ではないようです。
委 員	行政視察をたくさん受け入れていると伺っていますが、今年度の受入れ状況について報告してください。
事 務 局	承知いたしました。
委 員	先日、芦原小学校でコミュニティ・スクール導入に向けたワークショップが開催されたとのことですが、その時の様子や今後の展望等について報告をお願いします。
事 務 局	承知いたしました。
教 育 長	それでは、「報告事項⑤、議案第 28 号及び議案第 29 号」を議題といたします。秘密会とすることに決定しておりますので、説明員で議案に

	関係する職員以外は退席願います。
教 育 長	<p>【関係者以外の退席を確認後】</p> <p>それでは、「報告事項⑤ 全国学力・学習状況調査結果について」事務局より報告願います。</p>
事 務 局	<p>報告事項⑤全国学力・学習状況調査結果について報告します。</p> <p>まず、調査内容につきましては、小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語と算数・数学の2教科の調査となっております。各教科の問題は2種類あり、主として「知識」に関するA問題と、主として「活用」に関するB問題がございます。</p> <p>調査結果は御覧のとおりとなっております。上段にありますように、国語AB、算数・数学ABともに、全国、県の平均値を超える結果となっております。中段に昨年度との比較を掲載しております。</p> <p>同じ児童生徒集団での比較については、中学校の数学の国との平均値の差が大きく上回る結果となっております。</p> <p>先程の県学力・学習状況調査の結果を含め、現在、分析を進めているところです。</p> <p>なお、このたびの調査結果については、文部科学省がマスコミ発表するのが28日であることを申し添えます。</p>
教 育 長	以上で、説明が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。
教 育 長	とだっ子は着実に力をつけています。全国と県の学力・学習状況調査の違いを説明してください。
事 務 局	簡単に申し上げますと、具体的にどの単元が弱いのかわかるのが全国学力・学習状況調査で、児童生徒の伸びがわかり、指導に生かせるのが県学力・学習状況調査です。
	【議案第28号を議決】

教 育 長	次に、「議案第 29 号 平成 29 年度一般会計教育委員会関係 9 月補正予算（案）について」を事務局より説明願います。
事 務 局	<p>来年度に予定している設備改修工事に先立ち、郷土博物館内の収蔵資料の一時的な退避場所として、リース物件による仮設収蔵庫の建設を考えております。</p> <p>建設に当たり、完成まで数か月を要することから、今年度内に賃貸借の入札及び契約の締結を実施するため、平成 30 年度以降、2,250 万円を限度とする債務負担行為を設定するものです。</p>
教 育 長	以上で説明が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。
委 員	これは限度額内で実施できる業者と契約をするということですか。
事 務 局	本件は、債務負担行為を設定することについてです。予算は単一年度で完結するのが原則ですが、本事業が単年度で終了せずに、後の年度においても支出をしなければならないため、限度額を設け、あらかじめ、後の年度の債務を約束することを予算で決めておきます。これを債務負担行為といいます。
教 育 長	それでは、他に質問等がないようですので打ち切ります。議案第 29 号は、提案内容のとおり議決することに御異議ございませんか。
委 員	異議なし
教 育 長	異議なしと認め、議案第 29 号は提案内容のとおり議決いたします。
教 育 長	それでは、本日の案件等すべて終了いたしましたので、以上をもちまして、本日の教育委員会定例会を閉会いたします。